

報道関係者各位

2015年 3月2日
宮城県農業高等学校

観光甲子園グランプリ受賞のアイデアを実現！
AR グラスを活用した被災地観光ツアー
『NATORI AR HOPE TOUR』開催のお知らせ

宮城県農業高等学校（宮城県名取市 校長：佐々木英一）は、株式会社ディー・エム・ピー（宮城県仙台市 代表：小林 篤信 以下 dmp）の協力のもと AR グラスを活用した被災地観光ツアー『NATORI AR HOPE TOUR』の開発をすすめてきました。2015年度からのサービス化にむけて、2015年3月15日（日）に国連防災世界会議 in 仙台のパブリックフォーラムのひとつであるアジアレジリエンスフォーラムの招待客向けにツアーを実施いたします。

■ NATORI AR HOPE TOUR 概要

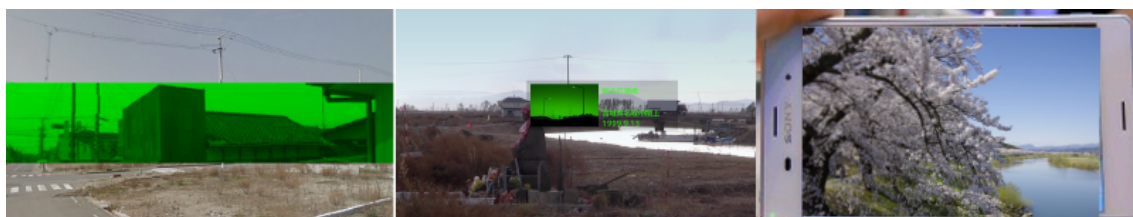
コンセプト

名取市の現在（震災後）、過去（震災前）、未来を AR（※1）を通して体感。悲しみをたどる観光ではなく、復興の未来を担う若者たちへの希望も体感。

語り部ガイドを聞きながら、以下の AR コンテンツを合わせて体験することで、被災地ツアーをよりエモーショナルに体感いただきます。

- ・ 語り部に合わせた情報の AR 表示
- ・ 震災前後の風景の AR 表示（日和山）
- ・ 復興祈願で植樹した桜が咲き誇る未来の姿を AR 表示（貞山運河）

コンテンツイメージ (※画面は開発時のものです)



■ 実施背景

本校生徒が企画した、名取市関上の過去・現在・未来をAR（拡張現実）を交えてガイドするアイデアは、観光プランで日本一を競い合うコンテンツ「観光甲子園」において第8回グランプリを獲得しました。アイデアの実現にむけ名取市、名取市観光物産協会を通じて、dmp社に協力を依頼。アプリケーションの開発とツアーの商品開発をすすめてきました。開発及びツアー開催にあたりソニー株式会社よりARグラス等の機器協力をいただきました。

ARグラスをつかった観光は国内では数件の事例がありますが、被災地でははじめての試みとなります。



左図：ソニー開発 透過式メガネ型端末『SmartEyeglass』

右図：SmartEyeglass ユーザー体験のイメージ

■ 概要

日時：2015年3月15日（月） 8時30分～9時45分

場所：関上中学校～日和山

主催：Asia Resilience Forum

協力：株式会社ディー・エム・ピー/株式会社 トーンコネクト

機材協力：ソニー株式会社

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ディー・エム・ピー（担当：佐藤）

宮城県仙台市青葉区一番町 2-8-18 仙台中央ビル 8F

TEL：022-214-2772

※1 AR（拡張現実）について

現実環境にコンピュータを用いて情報を付加提示する技術の総称。

被災地の風景（現実の環境）に、いまは体感することのできない震災前や震災直後の風景といった過去、未来の情報（追加情報）をその場に表示させて、語り部ツアーの内容理解を深めます。